《財政特集》平成16年度 予算のあらまし

問 財政課

平成15年度 予算の執行状況－2月29日現在－

平成15年度予算は、前年度からの繰越額と12月補正までを含め2月29日現在で、総額で516億2370万円となります。そのうち一般会計は332億243万円です。

歳入の執行率は、80・6％です。国・県支出金の執行率が低く、市債の執行率が0％なのは、対象となる事業の完了した後に交付等がされるためです。

歳出の執行率は71・4％です。土木費の執行率が低いのは、工事の完了や用地取得の時期が年度末になるものが多いためです。公債費は、年2回の償還の後期分が3月になるため、執行率が低くなっています。

なお、一会計年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、2月29日現在ありません。

［歳　入］　（単位：万円）

款	予算現額	収入済額	執行率
市税	1,879,591	1,805,275	96.0%
地方譲与税	29,000	21,457	74.0
交付金等	213,712	183,518	85.9
地方交付税	11,000	7,562	68.7
分担金及び負担金	30,566	21,220	69.4
使用料及び手数料	47,137	39,682	84.2
国庫支出金	274,799	133,883	48.7
県支出金	107,326	56,629	52.8
財産収入	7,023	7,961	113.4
寄附金	365	190	52.0
繰入金	18,865	15,083	80.0
繰越金	372,682	372,682	100.0
諸収入	72,327	9,996	13.8
市債	255,850	0	0.0
合計	3,320,243	2,675,138	80.6

［歳　出］　（単位：万円）

款	予算現額	支出済額	執行率
議会費	29,321	25,694	87.6%
総務費	476,056	373,917	78.5
民生費	699,078	586,793	83.9
衛生費	281,195	239,005	85.0
労働費	24,810	22,281	89.8
農林水産業費	20,484	15,812	77.2
商工費	34,995	31,287	89.4
土木費	836,699	423,758	50.6
消防費	162,367	133,336	82.1
教育費	459,268	378,079	82.3
公債費	291,649	139,303	47.8
諸支出金	350	0	0.0
予備費	3,971	0	0.0
合計	3,320,243	2,369,265	71.4

［特別会計］　（単位：万円）

会計名	予算現額 A	歳入 収入済額 B	歳入 執行率 B/A	歳出 支出済額 C	歳出 執行率 C/A
国民健康保険事業	786,221	610,871	77.7%	656,550	83.5%
下水道事業	277,734	190,463	68.6	171,386	61.7
老人保健医療事業	498,688	428,806	86.0	413,698	83.0
介護保険事業	279,484	224,222	80.2	228,449	81.7
合計	1,842,127	1,454,362	79.0	1,470,083	79.8

主な事業の概要

重点施策として、市長選挙で掲げましたマニフェスト（政権公約）の実現に向けた取り組みがあります。また、厳しい経済状況を反映して、事業の緊急性、必要性、継続性を考慮した**「改革断行型予算」**を編成し、事務事業の見直しを行なっています。

【第三セクターのあり方研究】
指定管理者制度の導入にあたり、市が100％出資している株式会社海老名公共サービスのあり方について研究します。

【男女共同参画計画の策定】
平成6年度に策定した「えびな女性プラン」に変わる新しい男女共同参画計画の策定に向けて、えびな女性プラン推進協議会（委員15人）とは別に公募による計画策定市民作業チーム（委員20人）を組織し、計画策定に取り組みます。

【広報えびなの充実】
市民への情報提供の最も有効な手段の1つである「広報えびな」の内容充実に努めます。また、新聞折込方式に替えて、ポスティングによる全世帯配布により広報をお届けします。

【夢科荘の廃止に向けた取り組み】
市政のスリム化を図るため、市民の休暇施設である夢科荘の廃止に向けた調査に着手します。

【公用車の削減】
公用車については、老朽化した車両の車検切れ等を機に削減を図ります。

【市民参加条例策定の準備】
策定に向けて「市民参加条例策定懇話会」（委員18人）を設置し、フォーラムやシンポジウムの開催、アンケート調査などを行います。

【自治基本条例策定の準備】
策定に向けて研究を行います。なお、制定作業は市民参加方式を採用します。

【行政評価委員会の設置】
市の実施している事務事業をその必要性、効率性、有効性等の視点から評価するため、市民参加による行政評価委員会の組織に向けて準備を行います。

【自転車駐車場の整備】
海老名駅東口第一有料自転車駐車場の整備を行います。コイン駐輪機の設置により、管理業務の委託費（人件費）が約130万円節減されます。

【地域防犯活動への支援】
安全で安心なまちづくりに向けて、自治会等の行う防犯活動に対して防犯協会を通じて支援します。

【手話通訳者の設置】
毎週金曜日の午後1時から5時まで窓口に通訳者を置きます。

【敬老ふれあい事業】
例年行ってきた敬老のつどいを廃止し、海老名プレミアム映画祭との共催により、高齢者に家族と一緒に映画鑑賞を楽しんでいただきます。

【小児医療費助成対象の拡大】
通院の助成対象者を就学前までに拡大します（7月実施）。

【保育所待機児童解消に向けた取り組み】
認可保育園の開設や公立保育園の定員増により、待機児童の解消に努めます。

【生活習慣病予防のための取り組み】
基本健康診査、歯科健診の対象年齢を40歳以上から35歳以上に引き下げ、若年齢層からの健康増進を図ります。また、マンモグラフィによる乳がん検診を導入します。

【環境に配慮した企業の育成】
事業者等に対し、産業廃棄物のリサイクルに向けた実験研究事業の支援や、リサイクルに向けた分別ごみ処理モデル地区構想、ＩＳＯ14001認証取得に向けた土壌づくりと支援を行います。

【道路整備事業費の充実】
さがみ縦貫道路の整備に併せ、機能回復の対象とならない道路について、市が整備する必要があります。そのために予算を充実しました。

【土地開発公社の廃止に向けた取り組み】
土地開発公社の廃止を前提に、公有地の買収を計画的に進め、公社から計6億9502万円の公用地を買収します。

【障害者減免制度の導入】
障害者の方が利用しやすくなるよう、海老名中央公園地下駐車場の使用料を減免します。

【設計精査の実施】
海老名駅自由通路整備（小田急相鉄駅舎部）については、情報公開のうえ市民の理解を求めるため、事業実施をいったん停止し、第三者機関に設計の精査を委託します。

【学校安全監視員の配置】
子どもたちが安全で安心して学べる学校を目指し、校内を巡回する監視員を配置します。

【部活動の充実】
去年8月に発足した部活動振興会への委託により部活動の活性化を図ります。

市民ひとりあたりの予算の使いみち

267,865円です。

民生費（社会福祉や児童福祉など社会生活の保障に）	(23.1%)	61,916円
土木費（道路や河川、区画整理などに）	(18.9%)	50,672円
公債費（市債の元金や利子の償還に）	(15.1%)	40,537円
教育費（小中学校や生涯学習に）	(13.2%)	35,292円
総務費（行政の運営に）	(12.1%)	32,482円
衛生費（予防注射やごみ処理などの保健衛生に）	(8.8%)	23,525円
消防費（防災など市民の安全に）	(5.1%)	13,732円
商工費（商工業の振興などに）	(1.1%)	2,826円
議会費（議会の運営などに）	(0.9%)	2,379円
農林水産業費（農業や園芸の振興などに）	(0.8%)	2,035円
労働費（雇用対策などに）	(0.8%)	2,030円
予備費（予算外の予備に）	(0.1%)	410円
その他	(0.0%)	29円

（平成16年1月1日現在の人口122,039人で算出）

平成16年度 一般会計予算

平成16年度一般会計予算は326億9000万円で前年度と比較して、8・1％の増となっています。大幅な増となっているのは、平成16年度が、平成7年度および8年度に借り入れた減税補てん債（20億9900万円・減税による地方税の減収額の一部を補うために発行される地方債）の借換え（同額を償還し借り入れる）の借換え年度にあたるためです。この特殊事情を差し引いた場合、金額で3億4100万円、率で1・1％の増となっています。

歳入

歳入のうち、最も大きな割合を占めているのが、市税の187億124万円です。対前年度比は金額で1億1182万円、率では0・6％の減となります。次は市債の46億3350万円で、対前年度比は金額で21億2900万円、率では85％増となります。また、借換え債を除いた場合には25億3450万円で、対前年度比は3000万円、1・2％増となります。

歳出

歳出予算を目的別に見ると、一番大きな割合を占めているのが民生費の75億5616万円で対前年度比は金額で5億4907万円、率では7・8％の増となります。生活保護費、児童福祉費、障害福祉費などの増が見込まれるほか、国民健康保険事業への繰出金が増加しているためです。2番目が土木費で61億8398万円で、対前年度比、4億1805万円、7・3％増となっています。これは、海老名駅周辺事業の減がある一方で、土地開発公社の所有する用地の買収などから、大幅増となっています。

平成16年度各会計別予算（単位：万円　△はマイナス）

［減税補てん債の借換え（209,900万円）を含む場合］　（単位：万円）

会計名		平成16年度当初予算額	平成15年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		3,269,000	3,025,000	244,000	8.1%
特別会計	国民健康保険事業	844,788	756,992	87,796	11.6
	下水道事業	292,597	275,907	16,690	6.0
	老人保健医療事業	473,220	483,445	△10,225	△2.1
	介護保険事業	323,685	272,717	50,968	18.7
	小計	1,934,290	1,789,061	145,229	8.1
合計		5,203,290	4,814,061	389,229	8.1

［減税補てん債の借換え（209,900万円）を含まない場合］　（単位：万円）

会計名		平成16年度当初予算額	平成15年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		3,059,100	3,025,000	34,100	1.1%
特別会計	国民健康保険事業	844,788	756,992	87,796	11.6
	下水道事業	292,597	275,907	16,690	6.0
	老人保健医療事業	473,220	483,445	△10,225	△2.1
	介護保険事業	323,685	272,717	50,968	18.7
	小計	1,934,290	1,789,061	145,229	8.1
合計		4,993,390	4,814,061	179,329	3.7

財産などの状況 －2月29日現在－

［市債の現在高］　（単位：万円）

会計	区分	現在高
一般会計	総務債	420,794
	民生債	48,542
	衛生債	90,274
	土木債	795,280
	消防債	37,476
	教育債	334,352
	住民税等減税補てん債	479,116
	臨時財政対策債	142,910
	合計	2,348,744
特別会計	公共下水道債	1,462,775
	流域下水道債	279,402
	合計	1,742,177

［基金の状況］　（単位：万円）

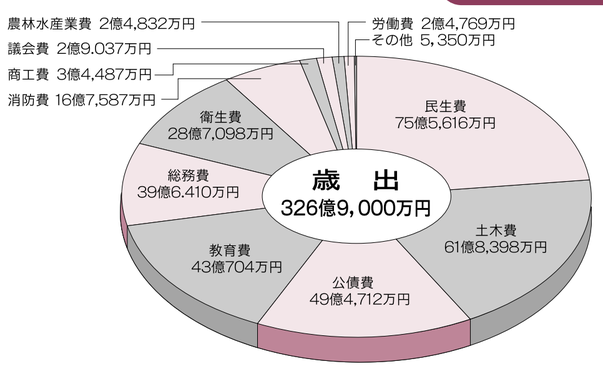
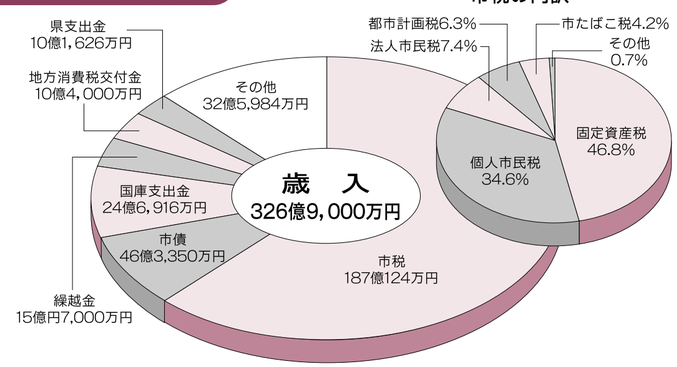
基金名	現在高	備考
財政調整基金	164,693	現金
庁舎等維持管理基金	200,028	〃
土地開発基金	7,025	〃
	18,166	土地
まごころ基金	5,431	現金
駅周辺整備基金	167,891	〃
みどり基金	462	〃
市営住宅建設基金	22,189	〃
奨学金基金	11,176	〃
国民健康保険財政調整基金	685	〃
介護保険給付費準備基金	26,693	〃

［市有財産］　（単位：㎡）

区分		土地	建物
行政財産	市庁舎	17,022	15,879
	消防施設	11,722	5,467
	学校	342,139	116,287
	公営住宅	19,582	4,619
	保育園	9,233	2,258
	児童館	2,044	580
	公民館	0	1,866
	公園	348,116	20,903
	その他の施設	157,188	61,049
	小計	907,046	228,908
普通財産（※）	田	168	0
	畑	3,737	0
	宅地	20,181	0
	雑種地	4,640	0
	その他の地目	4,538	0
	建物	－	459
	小計	33,264	459
合計		940,310	229,367

注）※は建物以外、公薄地目で分類

平成16年度一般会計



市税の内訳